

DRIVERS VOICE

松井宏太選手

良い状況でバトンをもらいました。最後の方はタイヤがきつくなったのですが、吉田選手が極力タイヤを残してくれていたため、自分の経験と先輩方のアドバイスを活かしながら最後まで走り切ることができました。自分は今週末、かなり良い状況で走らせてもらっていたので、しっかりと準備ができ、集中して走れたと思います。ピットインのタイミング的に悔しいところはあるのですが、今回のように取りこぼしのないレースができれば良いシーズンになると思うので、次の鈴鹿で頑張りしたいと思います。

野中誠太選手

こちらが追いつけないといけなかった状況だったのですが、ペース的にはこちらの方が苦しくなっていたので、最初からプッシュしました。アウディは直線スピードがかなり速く、いいドライバーが集まっているので、レベルの高いレースができました。目に見えて前との距離が縮まっていて、最後の3、4周ぐらいは他クラスのクルマも現れてきて、チャンスが来ないかなと思っていました。あと1、2周あつたら展開は変わったのではと思います。次の鈴鹿でこの悔しさを晴らしたいと思います。

服部尚貴選手

トップの#34 アウディはたまたまピットインの周に FCY がうまくはまったのだと思います。こちらはそこをとれなかった。それまで吉田さんが頑張つて、2位を20秒ぐらい引き離していたのですが、逆に20秒引き離されたのでしようがないですね。今年は全戦ポイント制ですから、優勝じゃなくても、ちゃんと取る必要があります。正直悔しいですけど、シリーズを考えるとこの2位は絶対有効なので、今後もどんどんポイントを重ねていって、チャンピオンを狙えるように頑張ります。

吉田広樹選手

結構良いペースで走れて、後続に対してすぐギャップを作れました。ただ、FCYでの取り分がなく、他のチームにそれがいってしまったので、ちょっと運がなかったです。クルマはすごく乗りやすく、バランスも良かったです。松井選手がタイヤ無交換で走る予定だったので、タイヤやブレーキを守りながら走っても、いいペースで走っていたので、チームが作ってくれたクルマのおかげだと思います。ほくらに運がなかったというよりか、トップのチームに運があったので、これもレースだと思います。

ST-Z クラス 決勝結果

順位	チーム	周回数
1位	#34 TECHNO FIRST R8 LMS GT4 (アウディ R8 LMS GT4)	117周
2位	#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2 (トヨタ GR Supra GT4)	117周
3位	#25 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (日産 Z NISMO GT4)	116周
4位	#885 シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2 (トヨタ GR Supra GT4)	116周
5位	#8 青山学院大学自動車部 GR Supra GT4 EVO2 (トヨタ GR Supra GT4)	115周
6位	#22 KOKUSAI GROUP GT4 RS CS (ボルシェ ケイマン GT4 RS CS)	115周

出走 12台 トップ6まで

ST-Z クラス ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1位	34	TECHNO FIRST	20
2位	52	埼玉 Green Brave	15
3位	25	TEAM ZEROONE	12
4位	885	SHADE RACING	10
5位	8	青山学院大学自動車部 S 耐チーム	8
6位	22	KOKUSAI GROUP SPORTS TEAM8	

上位6位まで

[次戦予告] 4月18日~19日 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

Green Brave PARTNERS



赤城車体工業株式会社



株式会社アルシェ



アルファクラブ武蔵野株式会社



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートオークション株式会社



株式会社西武ライオンズ



株式会社セーフティライフ



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビレッジサービス株式会社



トヨタホーム東京株式会社



トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社



富士フイルムビジネスイノベーション株式会社



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社リビコー